

平成22年度笹川科学研究奨励賞受賞研究発表会について

下記の通り、研究発表会を開催いたしました。

1 日時 平成23年4月28日（木）9：30～ ※出入り自由

2 場所 東京都赤坂 1-12-33

ANAインターコンチネンタルホテル東京 地下1階

3 プログラム

	第1会場 (生物系)	第2会場 (数物・工学/化学系)	第3会場 (複合/海洋・船舶系)	第4会場 (人文・社会/実践系)
9：30～		蛍光寿命測定による細胞内イオン濃度の定量測定法の開発 静岡大学若手グローバル研究リサーチ育成拠点 居波 渉		ザビバ小農世帯にみられる女性の主体的・自立的実践に関する研究トピック 農民の農閑期の移動と組合活動に着目して— 京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科 成澤 徳子
10：00～	中干し期・越冬期の生き残り戦略からみた、水田棲両生類の多様性保全のための基礎研究 愛知教育大学教育学部 島田 知彦	加エトイ村酸による神経細胞保護作用機構の生物有機化学的解明 京都大学大学院生命科学研究科 宮前 友策	ものづくりを契機としたまちづくりの研究 東京工業大学大学院理工学研究科 高橋 寛	犯罪被害者遺族による「命の授業」の学校現場への定着と展開のための諸条件と課題について NPO 法人おかやま犯罪被害者サポートファミリーズ 市原 千代子
10：30～	光合成光化学系Ⅱの品質管理：ΔpH および膜電位によるFtsHプロテアーゼの活性化について 岡山大学大学院自然科学研究科 吉岡 美保	フェムト秒光周波数コムを用いた先端応用計測技術の開発 東京大学大学院工学系研究科 韋 冬	高精度三酸素同位体組成による総一次生産の広域定量を目的とした新しい試料採取法の検討 北海道大学理学院自然史科学専攻 佐久間 博基	内モンゴルの環境調和的牧畜業の発展方向性に関する研究—消滅に瀕した「遊牧風土」の崩壊過程の分析をふまえて— 東京農工大学大学院連合農学研究科 阿拉坦沙
11：00～	ワグラー科ホリワグラー属の分類学的研究 高知大学大学院総合人間自然科学研究科 中山 直英	多糖を利用した抗原提示細胞特異的な核酸送達システムの開発 北九州市立大学国際環境工学部環境生命工学科 望月 慎一	東南アジアの天然オイルを用いた乳白化、包接オイルの果実包装紙の作製 鳥取大学大学院工学研究科 グイバラミ	地域博物館における市民グループの高齢化の実態調査及び他世代との連携プログラムの実践開発—地域の伝承活動を継承していくには— くにたち郷土文化館 齊藤 有里加

* 発表時間（30分内訳）

研究者発表：20分 質疑応答：10分